

言語聴覚療法(ST:Speech Therapy)

○対象とするお子さん

- ことばやコミュニケーションに遅れや偏りがある。
- 発音できない音や言いにくい音がある。
- 哺乳瓶やコップで水分を飲むときにむせてしまう。
- 離乳がすすまない。
- 食事をよく噛まずに、丸呑みやむせてしまう。

○言語聴覚療法で行っていること

- お子さんに合わせた遊びや課題を設定し、ことばやコミュニケーションの発達を支援します。
- 発音の状態を確認し、口の動かし方や音の出し方の練習をします。
- 飲みにくさや食べにくさのあるお子さんに対し、抱っこの仕方や座り方を工夫し、食べ物の硬さや大きさを調整し、離乳や食事を段階的にすすめていきます。
- ことばだけでのコミュニケーションが難しいお子さんに対して、サイン・絵カード・コミュニケーション機器などの活用を促します。
- きこえに心配のある場合、日常の様子を伺い、お子さんの音や声への反応を観察します。
- 必要に応じ、幼稚園・保育園・小学校・児童デイサービスなどと連携をとります。

